

「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて（魅力・交流・文化 分野） 事業評価一覧（令和3年度に実施した事業）

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
宇都宮ブランド戦略の推進	IV-13	都市ブランド戦略の推進	好循環P 戦略事業	本市の魅力や都市イメージの向上により、市民の誇りや市外からの憧れなど愛着を獲得する	・市内外の人 ・企業等	本市の魅力を知ってもらう「認知」の取組と好きに なってもらう「信頼」の取組の推進	計画 どおり	0	H20	先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:ターゲットに応じた情報接触機会の増加、魅力の体験・参加・発信機会の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア向け情報発信サイトの活用や、東京圏の若者に対するSNS動画広告の配信、地域のライフスタイルに興味関心が高い層に訴求できるWEBマガジンへの記事掲載など、ターゲットに応じた最適なチャンネルを選択し、情報発信を行ったことにより、情報接触機会の着実な増加が図られた(メディア露出回数 R2:796件⇒R3:911件)。 ・また、知名度や発信力の高い「誇れる宇都宮愉快市民」と連携したフォトコンテストや、プロスポーツチームと連携したSNSキャンペーン、転入者による本市の魅力発信などを実施したことにより、体験や参加、発信を通じた新たな宇都宮ファンの獲得及びサポーターの強化が図られた。 ・東京圏への転出超過が続いている状況などを踏まえ、これまでの都市ブランド戦略の多様な取組の蓄積を活かし、関係人口や移住・定住人口の増加につながる情報発信の充実・強化を図る必要がある。 <p>【②今後の取組方針】:移住・定住促進につながる集中的なプロモーションの実施</p> <p>本市のまちと暮らしが大きく変わる節目を捉え、特に、東京圏の子育て世代や若者に対し、本市の住みよさや魅力・実力などの認知度を高めるため、集中的なプロモーションを展開し、移住・定住の促進につなげる。</p>	拡大
東京圏から本市への移住・定住等の促進	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	本市へ移住・定住する人の増加	東京圏を中心とした、本市外に在住する方	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住アプリなどによる本市の魅力や情報の発信 ・本市での生活等について理解を深められる体験事業の実施 ・ワンストップ窓口による相談受付 ・本市における各種支援制度の利用促進 	計画 どおり	27,320	H28	独自性 先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:移住・定住に関する情報発信や施策事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、引き続き、移住・定住アプリや県と連携したオンライン移住セミナーによる情報発信を実施するとともに、地方への移住を検討する方を対象に、お試し宿泊体験等を行うみや暮らし体験を実施した。 ・また、新たにYouTube等を活用したデジタルマーケティングや、市内でテレワークとプロスポーツ観戦などの余暇活動を体験できるプランを提供するみやテレワークセッションに取り組むなど、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、実施可能な取組の充実を図った。 ・移住・定住相談窓口での相談延べ件数については、令和2年度と比較し、約3倍(R2:55件 ⇒ R3:166件)に増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響や就業環境の変化による地方移住に対する機運が高まっていることから、移住の検討熟度に応じた施策・事業の導出と着実な実施が必要である。 <p>【②今後の取組方針】:移住・定住の更なる促進と関係人口の創出</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等による地方移住の機運を捉えながら、引き続き、効果的な情報発信を行うほか、体験事業や相談体制の充実を図るなど、移住に向けた検討熟度に応じた支援を強化し、移住・定住の更なる促進を図るとともに、本市と継続的な関わりを持つ関係人口の創出、東京圏に転出した本市出身の若者等をターゲットとした取組の強化を図っていく。</p>	拡大
「3x3のまち」推進による都市魅力向上事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P	FIBA(国際バスケットボール連盟)が主催する3人制バスケットボール「3x3」の国際大会の開催を通して、交流人口の拡大による地域経済の活性化のほか、「3x3のまち」としての都市ブランド力の向上やシビックプライドの醸成を図る。また、多くの市民が3x3に触れられる機会を創出し、「3x3のまち宇都宮」を推進する	・FIBA3x3ワールドツアー「うつのみや実行委員会」 ・全市民	<ul style="list-style-type: none"> ・本市で開催する「FIBA3x3ワールドツアー」に係る費用の一部を交付 ・国内トップリーグ「3x3.EXE PREMIER」の誘致開催をはじめとした「3x3のまち宇都宮」のプロモーション 	感染症の影響による変更	40,767	H28	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:「うつのみやオープナー」の誘致開催決定と開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による大会の中止を踏まえ、令和4年度以降の大会についてFIBAと協議を重ねてきた結果、ワールドツアーの開幕戦を「オープナー」として新たにブランディングし、「3x3のまち」としての都市ブランド力の更なる向上に向けて、「うつのみやオープナー」の誘致開催を決定することができた。 ・令和4年5月の「うつのみやオープナー」の開催に向け、新型コロナウイルス感染症の影響により外国人の入国が制限される中、海外選手の入国に係るスポーツ庁との調整を行ったほか、既存スポンサーを含め、幅広い業種の企業に対して協賛活動を行うなど、準備を進めることができた。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、関係団体との調整など、大会開催に向けた準備を進めていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針】:安全・安心な大会運営と大会開催を通じた地域経済の活性化</p> <p>大会主管である大会実行委員会と連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策の徹底のもと、「うつのみやオープナー」を開催し、地域経済の活性化を図るとともに、国内外に「3x3のまち」としての本市の魅力を発信する。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
宇都宮シクロクロスの開催	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	シクロクロスの国際大会の開催を通して、交流人口の拡大のほか、「自転車のまち」としての都市ブランド力の向上やサイクルスポーツの振興等を図る	宇都宮サイクルスポーツ推進委員会	「宇都宮シクロクロス」の開催に係る費用の一部を交付	感染症の影響による変更	800	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:大会のブランド力の維持と令和4年度の開催に向けた準備 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い大会が中止となったことの代替事業として、来年度以降の大会の来場者数や競技人口の増加につなげるため、大会の魅力発信を含むシクロクロスのHow to動画を制作し、大会公式YoutubeチャンネルやSNSにおいて幅広く宇都宮シクロクロスをPRしたことにより、大会のブランド力の維持を図ることができた。 ・令和4年度の開催に向け、海外選手への出場交渉のほか、これまでの大会スポンサーを中心とした協賛意向の確認を行うなど、準備を進めることができた。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、海外選手の出場交渉や協賛活動など3年ぶりとなる大会開催に向けた準備を進めていく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針】:安全・安心な大会運営と大会開催を通じた地域経済の活性化 ・大会主催である宇都宮サイクルスポーツ推進委員会と連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策の徹底のもと、UCI公認のシクロクロスを2日間開催し、地域経済の活性化を図るとともに、「自転車のまち」としての本市の魅力を発信する。</p>	
ジャパンカップサイクルロードレースの開催	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	アジア最高位の自転車ワンデイロードレースの開催を通して、交流人口の増加による地域経済の活性化のほか、「自転車のまち」としての都市ブランド力の向上やシビックプライドの醸成を図る	NPO法人ジャパンカップサイクルロードレース協会	「ジャパンカップサイクルロードレース」の開催に係る費用の一部交付 ※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ大会を中止したことから、代替事業実施に伴う費用の一部交付	感染症の影響による変更	28,290	H4	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:大会のブランド力の維持と令和4年度の開催に向けた準備 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い大会が中止となったことの代替事業として、オンラインで国内外の有力選手等がレースを行う「デジタルジャパンカップ」を開催したほか、新たにデジタルマーケティングを実施し、幅広くジャパンカップをPRしたことにより、大会のブランド力の維持を図ることができた。 ・令和4年度の開催に向け、ワールドチームへの出場交渉や、これまでの大会スポンサーを中心とした協賛意向の確認を行ったほか、森林公園通りの樹木伐採や、安定的なレース映像のライブ配信に必要となる光回線や電源の古賀志林道山頂までの整備を完了することができた。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、チーム・選手の出場交渉や協賛活動など、3年ぶりとなる大会開催に向けた準備を進めていく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針】:安全・安心な大会運営と大会開催を通じた地域経済の活性化 ・大会主管であるNPO法人ジャパンカップサイクルロードレース協会及び大会実行委員会と連携しながら、新型コロナウイルス感染症対策の徹底のもと、日本で唯一認定されている「UCIプロシリーズ」に相応しい大会を開催し、地域経済の活性化を図るとともに、国内外に「自転車のまち」としての本市の魅力を発信する。</p>	
プロスポーツチーム支援事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ		本市をホームタウンとする「栃木SC」「宇都宮ブレックス」「宇都宮プリツェン」に対して、支援・連携策を実施することにより、経済・地域の活性化やシビックプライドの醸成を図る	・3つのプロスポーツチーム ・全市民	・ファン層拡大に向けた広報支援 ・公式戦や練習等、活動環境の向上に向けた支援 ・新型コロナウイルス感染症のプロスポーツチームへの影響を踏まえた本市の魅力発信に係る支援連携	計画どおり	9,680	H18	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:ホームタウン自治体としての支援連携策の実施 ・市有施設へのポスター掲出や市広報紙への試合情報の掲載など、プロスポーツチームのファン層拡大に向けた広報活動を実施したほか、各チームのホームゲーム等を活用し、市内飲食店や観光地のほか、ジャパンカップや3x3の情報を幅広く発信することができた。 ・プロスポーツチームの活動環境の向上に向けて、試合会場等の確保に対する定期的な意見交換を行うことができた。 ・引き続き、プロスポーツチームがもたらす効果を高められるよう、ホームタウン自治体として各チームへの適切な連携支援策を実施する必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針】:プロスポーツチームとの更なる連携強化 ・プロスポーツチームが本市にもたらす効果の拡大を図るため、3つのプロスポーツチームとの緊密な連携体制を構築し、更なるファン層拡大によるシビックプライドの醸成のほか、アウェイツーリズム等年間を通して賑わいの創出につながる事業を推進する。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
(公財)大谷地域整備公社運営費補助金	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石採取場跡地等の安全対策事業を総合的に推進する	(公財)大谷地域整備公社	大谷地域の安全対策を行う大谷地域整備公社の運営費の一部を補助(栃木県2:宇都宮市1)	計画どおり	28,870	H2		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観測システムの運用による迅速な対応等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷地域整備公社の運営費の補助により、観測システムによる採取場跡地での振動発生等の常時監視・解析等の円滑な実施に係る支援を行った。 ・振動が観測された場合においても、県・市・公社等で連携を図り、地域住民等に対して迅速に情報提供等を実施するとともに、庁内関係部署と連携し適切な措置を行った。 ・今後も大谷地域の民生の安定に向け、関係機関の連携のもと、大谷石採取場跡地の安全対策に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:着実な安全対策の遂行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷地域の安全対策の推進及び市民生活の安定を図るため、引き続き観測システム等の安全対策の実施主体となる大谷地域整備公社の運営の支援を行うとともに、令和4年度から着手予定の大谷石材協同組合による採取場跡地の埋め戻しの円滑な推進に向けた支援など、公社の運営以外の安全対策についても、引き続き関係機関と連携を図りながら着実に推進する。 	
大谷石利用促進事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進		大谷石需要の拡大及び大谷石産業の活性化を図る	市内で居宅・事務所等の新築・増改築を行う際、内外装の材料として、大谷石を活用する建築主	市内で居宅・店舗等の内外装等の材料として、大谷石を利用した者への経費の一部を補助	計画どおり	4,834	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷石の景観づくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷石を利用する建築主への支援を通じ、大谷石への愛着醸成や大谷石産業の活性化を図るとともに、本市の特徴である大谷石の景観づくりを推進した。 ・本市独自の「大谷石文化」を創り出してきた大谷石産業が持続的に発展できるよう、今後も支援を行っていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:大谷石産業の持続的振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本補助制度による建築主への支援を通じ、大谷石の利用を促進し、大谷石産業の持続的振興を推進するとともに、大谷石材協同組合との連携により、大谷石の魅力等を国内外に発信する「大谷石大使」を通じた更なるPRを行うなど、大谷石の建材としての需要拡大を図る。 	
大谷観光景観形成事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P 戦略事業	地域団体が実施する観光景観形成を支援し、大谷地域の観光振興を推進する	大谷地区総合開発推進協議会	大谷・多気地区の美観維持に係る費用(岩肌のつた、雑草除去及び奇岩景観の保全)の一部を補助	計画どおり	3,000	H15		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):地元団体が主体となった観光景観の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷・多気地区の良好な景観づくりに向けた、地元団体による岩だしや下草刈り等の景観形成・維持活動への支援を行い、観光景観の向上を図った。 ・大谷周辺地域の観光客増加等に伴い、地域の景観の重要性が高まっていることから、今後も活動の主体となる地域団体との連携により、景観形成事業に取り組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針:大谷地域の観光振興の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成重点地区における良好な景観づくりに向け、引き続き地元団体と連携を図りながら、主要な回遊動線などにおける地元団体による景観維持活動の支援を行い、奇岩群など魅力的な景観スポットへの回遊促進などを含めた大谷地域の観光振興を図る。 	
大谷観光周遊拠点施設建設 継続事業 ※拠点性向上事業を含む	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P 戦略事業	観光周遊拠点施設の整備等により、大谷の観光拠点性の向上を図る	市民、本市来訪者	<ul style="list-style-type: none"> ・観光周遊拠点施設の用地等の確保 ・観光周遊拠点施設の整備に向けた設計 ・観光周遊拠点施設の整備工事 	計画どおり	77,214	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):実施設計や整備工事の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)大谷観光周遊拠点施設の整備に向け、必要となる用地を確保するとともに、整備工事に係る実施設計や、敷地造成などの整備工事に着手した。 ・大谷地域の観光振興や地域活性化に資する施設としていくため、大谷への誘客促進や回遊性向上等に向けた最適な管理運営に係る管理方針等の整理が必要である。 <p>【②今後の取組方針:着実な整備工事の推進や指定管理者の選定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月の供用開始に向け、工事担当課と緊密に連携を図りながら整備工事を着実に推進するとともに、民間活力を活用した効果的な管理・運営に向けた指定管理者の選定を行う。 	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
大谷地域資源活用事業 (冷熱エネルギーを活用した大谷地 域の振興)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	冷熱エネルギーを活用した事業を推進し、大谷地域の振興を図る	冷熱エネルギー活用事業に参入する事業者	・冷熱エネルギー活用事業への参入促進に向け、冷熱利用機器の導入に係る経費の一部を補助	計画 どおり	4,000	H24	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):冷熱を活用した大谷夏いちごの生産拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上駒生地区における新規参入事業者2者に対し、冷熱利用機器の導入に係る支援等を行い、令和4年4月から大谷夏いちごの栽培が開始され、5月下旬頃から熱供給会社からの供給開始により、冷熱エネルギーの本格利用が開始される予定。 ・上駒生地区における更なる栽培面積の拡大に向け、引き続き、冷熱利用の円滑な推進や、栽培事業者への支援等に、庁内関係課と連携のとも取組む必要がある。 <p>【②今後の取組方針:冷熱エネルギーの利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの調査の結果や「冷熱エネルギー利用ガイドライン」を活用し、冷熱エネルギーの活用方法とその効果について事業者への共有を図り、積極的な熱利用の促進を図る。 	
大谷特性活用支援事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	好循環P 戦略事業	大谷地域の特性を活用した事業の開発等を支援し、新たな魅力となる地域産業の創出を推進する	・市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP ・国内の高等教育機関、又は当該高等教育機関に所属する教職員を代表とする研究グループ	大谷の地域資源を活用した新たな地域産業等の創出や、学術的視点から調査研究を行う取組に係る経費の一部を補助	計画 どおり	2,500	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):新たな体験型コンテンツの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷石採取場跡地でのアートを取り入れた体験型コンテンツの取組への支援により、周遊エリアの拡大や回遊性の向上等に繋がるとともに、大谷石とアートの親和性の高さを評価する声など、地域資源の新たな可能性を確認することができた。 ・大谷石の工学的特性等に係る研究への支援により、大谷石の風化に係る検討等が行われ、防水材を浸透させることによりその抑制に効果があることが示された。 ・更なる地域活性化に向け、地域資源を有効活用しながら、地域の新たな魅力となる地域産業等を創出していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:地域資源等の活用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで支援を行ってきた事業が継続的な事業として地域に根付くよう、円滑な事業化を推進するとともに、地域資源とアートの組み合わせなど新たな観光コンテンツの創出に向け、さらなる資源の掘り起こしや事業者への支援等を行う。 ・地域資源の更なる活用や価値の向上、並びに地域産業に振興等に向け、引き続き大谷石などをはじめとした地域資源の学術的視点からの研究活動に対して支援を行う。 	
観光地インフラ整備事業	IV-13	観光地・大谷の地域活性化の推進	SDGs	120万人の観光入込客を見据えた将来の最適な交通ネットワークの形成に向け、観光交通社会実験や道路改良等により、交通環境の向上を図る	市民、本市来訪者	・交通混雑の緩和や滞在時間の延伸、周遊性の向上等に向けた観光交通社会実験の実施	計画 どおり	14,993	R1		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):回遊性の向上や滞在時間の延伸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティを活用した観光スポット等の周遊サービスの提供や、民間事業者が提供するワンデイパスポートの取組との連携等により、大谷地域内の回遊性の向上や滞在時間の延伸を図った。 ・周遊サービスを継続的に運用していくため、多様なニーズに合ったパスポートの仕組みを検討するとともに、観光関連施設等からの協賛や利用者からの料金収受の仕組みの改善等に向け検討していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:グリーンスローモビリティの本格運行に向けた体制整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティの令和5年度からの本格運行に向け、運行期間の拡充を図りながら、地域団体や民間事業者と連携した運行体制の構築や、事業性を高めるための最適なサービス提供方法等について整理する。 	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
MICE推進事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	令和4年11月に供用 開始を迎える宇都宮 駅東口交流拠点施設 をはじめとした本市全 域にMICEを誘致し、 地域経済の活性化を 図る	MICE開催主催者や PCO	・MICE推進の目指す姿や 取組等を取りまとめた戦 略の策定 ・本市の魅力を訴求する ためのプロモーションツ ール等の開発 ・主催者に対する訪問営 業の実施 ・交流拠点施設等の供用 開始に向けた準備	計 画 ど お り	41,509	R1	<p>【①昨年度の評価(成果や課題): MICE推進における基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市MICE推進の目指す姿や取組の方向性等を取りまとめた「宇都宮市MICE戦略」を策定し、関係団体や事業者等の共通認識を図るとともに、本市MICE開催における優位性を高めるため、開催支援補助制度の新設や市内企業等と連携したテクニカルビジット、事業者と連携した各種体験プランの作成などに取り組みながら、主催者に対する効果的な誘致活動を実施し、新規MICEの予約獲得及び開催地としての知名度向上を図ることができた。 ・宇都宮駅東口交流拠点施設と交流広場の愛称を市民等の投票により決定し(交流拠点施設: ライトキューブ宇都宮、交流広場: 宮みらいライトヒル)、これらの施設等に対する市民の親しみや愛着心の醸成を図ることができた。 ・都市間競争が激化する中、本市が開催地として選ばれるためには、コンベンション施設の魅力向上や会議終了後のアフターコンベンションの充実など、本市でのMICE開催における優位性を高める必要がある。 ・令和4年11月の宇都宮駅東口交流拠点施設の供用開始に併せて、新たな都市拠点の完成イベントを盛大に開催できるよう、指定管理者や関係団体等と連携を図りながら、計画的に準備を進める必要がある。 <p>【②今後の取組方針: MICE誘致の更なる強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、「宇都宮市MICE戦略」に基づき、(一社)宇都宮観光コンベンション協会や指定管理者等と連携を図りながら、引き続き、戦略的な誘致活動を推進するとともに、関係団体や事業者等と協働で「(仮称)宇都宮MICEネットワーク」を設立し、本市が一丸となりながら、MICE誘致のさらなる強化に取り組む。 また、関係団体や事業者等と連携を図りながら、宇都宮ならではの強みや資源を活用し、主催者にとって魅力的なコンテンツやプロモーションツールの更なる充実に取り組むとともに、これらの活用を図りながら、積極的な誘致活動に取り組む。 ・令和4年11月の交流拠点施設の供用開始をもって、宇都宮駅東口地区のまちびらきを迎えるため、うつのみやシンフォニーをはじめとした関係事業者等と一体となった盛大なイベントを開催するとともに、まちびらき後の恒常的な賑わいの創出に取り組む。 	拡 大	
宇都宮さつき&花フェア開催事業 (交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		市花のPR・花き・花木 の普及定着と生産振 興	宇都宮さつき&花 フェア実行委員会	宇都宮さつき&花フェア の開催に係る費用の一部 を交付	感 染 症 の 影 響 に よ る 変 更	2,520	H8	<p>【①昨年度の評価(成果や課題): 知名度向上と誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、フェアの内容を変更し、規模を縮小(さつきの展示や販売のみ)して開催した。 ・引き続き関係団体と連携しながら、より多くの人を楽しんでもらえるよう開催内容の充実を図ることができるよう支援をしていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針: 実行委員会への継続的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、市の花「さつき」の理解促進と本市への更なる誘客促進を図るため、「宇都宮さつき&花フェア実行委員会」を支援していく。 		
うつのみや花火大会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「うつのみや花火大会」 の開催を支援する ことで、本市の知名度 向上やイメージアップ につなげる	特定非営利活動団 体うつのみや百年花 火	「うつのみや花火大会」の 開催に係る費用の一部を 補助	感 染 症 の 影 響 に よ る 変 更	642	H19	<p>【①昨年度の評価(成果や課題): 知名度向上と誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、通常開催は中止となったが、代替事業として、とちぎテレビでの「2021うつのみや花火大会 on TV」を放映した。 ・今後は、感染症の状況を注視しつつ、関係団体と連携しながら、市民をはじめ多くの観光客に愛される花火大会となるよう支援していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針: 実行委員会への継続的な支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、全国に誇れる花火大会である「うつのみや花火大会」を通じて、本市の知名度向上や誘客促進を図るため、「NPO法人 うつのみや百年花火」を支援していく。 		

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
大谷地域周遊促進事業	IV-14	戦略的観光の推進		二次交通を活用した市内周遊を促進することで、観光客の利便性を高める	本市来訪者	・うつのみやくるくるバス(大谷～若山農場～宇都宮動物園～ろまんちっく村～大谷)の運行 ・バス乗車券に観光施設入場券等を付帯した企画乗車券を販売	計画 どおり	1,066	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷周辺地域の周遊促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの実証実験により、北西部地域を周遊するニーズが一定程度あることを確認していることから、観光事業者等による将来的な自走化を見据え、北西部地域のみ周遊するバスを運行し検証を行った。 新型コロナウイルス感染症により変化する旅行ニーズを的確に捉えたとともに、観光事業者などと意見交換を行いながら自走化できるスキームを検討し、より一層北西部地域の観光振興を図る必要がある。 <p>【②今後の取組方針:民間事業者との連携強化】</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら交通事業者等と連携を図りつつ、周遊手段や周遊ルートについて検討し、二次交通を活用した北西部周遊等を実施していく。</p>	
外国人の誘客促進事業	IV-14	戦略的観光の推進		外国人観光客の誘客促進に取り組むことで、市内経済の活性化を図る	外国人観光客	・海外での観光プロモーション ・外国語版パンフレットの作成・配布・PR	感染症の影響による変更	440	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):インバウンドプロモーションの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外国人旅行者の国内の受入規制などにより、積極的なインバウンドプロモーションが実施できなかった。 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、外国人旅行者に速やかに観光プロモーションが展開できるよう、昨年度構築したポータルサイトのコンテンツの追加や来訪意欲を高めるためのFIT(海外個人旅行)向けの体験型コンテンツの造成に取り組んだ。 引き続き、感染症の状況や渡航制限等に注視しながら、戦略的に外国人の誘客促進事業に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:更なるインバウンドの推進】</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、海外での観光情報発信のほか、国外向け旅行会社と連携した取組や分析調査を踏まえた効果的な誘客プロモーションの実施により、更なるインバウンドの拡大を図る。</p>	
観光拠点創出事業	IV-14	戦略的観光の推進	戦略事業	本市の特色を活かした観光拠点を整備することで、メディア等への露出を促し、市外からの誘客促進を図る	餃子通り(宮島町通り)	・餃子をテーマとした様々な装飾 ・マスメディア等を活用した情報発信 ・餃子や大谷石など本市の観光資源をモチーフにしたグッズの配布	計画 どおり	179	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民一体となった観光拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客の受入整備として、観光PR活動時に餃子通りをはじめとした観光拠点のPRを行いながら、餃子・カクテル・ジャズ・大谷石などのグッズを配布するなど、餃子通りの知名度や本市観光資源のブランド力向上を図った。 引き続き、関係事業者等と連携しながら、観光客のニーズを捉えて新たな観光スポット等の磨き上げに取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:観光拠点の更なる磨き上げ】</p> <p>引き続き、情報発信力の高い層をターゲットにした話題性のある新たなアイテムの設置など、集客性や認知度の向上を図るとともに、民間事業者等と連携しながら、観光資源の更なる磨き上げに取り組んでいく。</p>	
観光コンベンション協会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		観光振興の中核的役割を担う宇都宮観光コンベンション協会の支援を行うことで、本市への観光誘客による市内経済の活性化を図る	宇都宮観光コンベンション協会	観光推進事業やコンベンションの誘致、フィルムコミッションなどの事業運営に要する経費の一部を補助	計画 どおり	51,921	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民一体となった観光振興と協会の法人化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光・コンベンション事業を展開する宇都宮観光コンベンション協会を支援することにより、本市観光のPRや積極的なセールス活動の実施のほか、本市を訪れた観光客が旅ナカにおいて便利に本市の観光情報を得ることができるよう「宇都宮市観光デジタルマップ」の構築など、本市における観光振興を図るとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化に取り組んだ。 また、一般社団法人化に向けた支援も併せて行い、本市の中核的観光振興組織としての基盤整備に取り組んだ。 今後は、法人化した当協会が、観光事業者と連携した観光振興やMICEを通じた観光振興に積極的に取り組むことができるよう引き続き支援していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:協会と連携した柔軟かつ機動的な観光事業の展開】</p> <p>当協会が本市の観光における中核的役割として観光事業者と柔軟かつ機動的に連携し観光客に訴求できる独自性のある事業やMICEを通じた観光振興策を迅速に展開できるよう、協会を適宜支援することで、観光による地域経済の活性化やMICE開催後のアフターコンベンションの充実などMICEと連携した観光振興に取り組んでいく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
ジャズのまち活性化事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「ミヤ・ジャズイン」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	ミヤ・ジャズイン実行委員会	イベントに係る費用の一部を交付	計画 どおり	1,000	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):ジャズを活用した中心市街地活性化、観光誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、入場制限や検温等の感染対策を講じながら「ミヤ・ジャズイン」の開催を支援し、中心市街地において「ジャズのまちうつのみや」を発信することができた。 引き続き関係団体と連携しながら、「ジャズのまち」としての魅力があふれるイベント内容となるよう支援を行う必要がある。 <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】</p> <p>今後も、新型コロナウイルスの感染症の状況を見極めながら、本市の知名度向上や誘客促進を図るため、「ミヤ・ジャズイン実行委員会」を支援していく。</p>	
森林公園魅力向上事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	森林公園の魅力向上に向けた再整備を行うことにより、自然に親しめる場としてより多くの市民に利用されとともに、自然を活かした体験型観光地として観光客を誘客し、引いては、「大谷地域」「ろまんちっく村」との周遊性の向上につなげ、大谷周辺地域全体を活性化を図る	・全市民 ・本市観光客	森林公園の魅力向上に向けた再整備の推進	計画 どおり	12,711	H29		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):再整備方針の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の森林公園の魅力向上に向けたメインコンセプトとなる機能のほか、民間活力を最大限活用した再整備を進めることなどについて検討し、再整備方針として取りまとめることができた。 再整備方針に基づき、民間活力を最大限活用した、実効性の高い再整備基本計画を策定する必要がある。 <p>【②今後の取組方針:森林公園再整備の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者への意向調査結果を踏まえ、再整備後の森林公園のイメージやそれによる効果をまとめるほか、効果を最大化するための最適な公民連携手法等について検討し、再整備基本計画として取りまとめ、本計画に基づき、再整備に係る民間事業者の選定に向けた準備を進めていく。 	
地域交流館整備事業	IV-14	戦略的観光の推進		農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全等	計画 どおり	3,269	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光施設の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持修繕工事を計画的に実施し、適切な管理運営に努めたところである。 今後は、指定管理者と連携しながら、地域交流拠点として新たな活性化策の検討を行う必要がある。 <p>【②今後の取組方針:適切な管理運営】</p> <p>引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の魅力向上や利用促進に努めるとともに、令和5年度以降の指定管理者の選定に向け、施設の適切な管理運営と地域の活性化に資する魅力向上の観点を踏まえた選定作業に取り組んでいく。</p>	
東京2020オリンピック関連事業	IV-14	戦略的観光の推進	好循環P 戦略事業	スポーツを通じた中心市街地の活性化のほか、多くの市民が世界の「本物」に触れる機会の拡大を図る	・FIBA(国際バスケットボール連盟) ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ・栃木県	・東京2020オリンピックに合わせた本市独自の取組としての3x3オリンピック出場国事前トレーニングキャンプやコミュニティライブサイトの実施 ・栃木県が進めるハンガリー選手団の事前トレーニングキャンプへの協力	感染症 の影響 による変 更	500	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):実施に向けた準備(中止)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3x3オリンピック出場国事前トレーニングキャンプについて、FIBAや3x3ワールドツアーうつのみや実行委員会(以下「実行委員会」という。)と連携しながら、複数の国と来日に向け調整を行っていたが、感染症対策の一環として事前キャンプに参加せず、入国後直接選手村へ入村するなどの理由で、全ての国から辞退の連絡を受けたことから中止を決定した。 コミュニティライブサイトについて、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や実行委員会と連携しながら準備を進めていたが、3x3ワールドツアーうつのみやマスターズや事前トレーニングキャンプの中止を踏まえ、中止を決定した。 	廃止 終了

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
栃木県アンテナショップ運営事業 (負担金)	IV-14	戦略的観光の推進		首都圏において、本市観光情報を発信することで、本市への観光誘客を図る	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」	本市加工品の販売や観光情報の発信などアンテナショップに係る運営経費の一部を負担	計画どおり	2,597	H24		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):アンテナショップの活用促進】 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休業や、時短営業により、観光客は減少しているが、特設ブースの設置など、積極的な観光PR活動を展開することで、市の知名度やブランドの向上による誘客促進を図った。引き続きアンテナショップを活用して、情報発信するなど、誘客促進を図る必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:本市観光資源の更なるブランド力の向上】 今後は、栃木県と意見交換を行いながらブランド力の発信に取り組みとともに、感染症の収束状況を見極めつつ、誘客促進を図るためイベントスペースでのPRを実施するなど、有効に活用しながら、観光客等に向けた情報発信等を展開していく。</p>	
農業・農村ふれあい交流事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		農業・農村地域の活性化と交流人口の拡大	農業・農村ふれあい交流事業を実施する市内の地域農業者等で構成される団体	都市と農村の交流に係る事業費用の一部を補助	感染症の影響による変更	0	H17		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):都市と農村の交流促進】 ・新型コロナウイルス感染症の影響による事業機会の減少により、補助実績なしであった。 ・しかしながら、農とのふれあい交流事業は、地域の活性化や都市と農村の多様な交流を推進する上で有効な機会であり、引き続き本市の農産資源を活用した交流事業を実施する地域団体等を支援する必要があることから、補助制度の利用につながるよう周知に努めていく。</p> <p>【②今後の取組方針:団体等への継続的な支援】 今後は、市外からの観光客や市民を含む都市住民に対し、農業や収穫などの体験をしてもらうことで、都市と農村の交流や農村地域の活性化が図られることから、引き続き、農作業体験等のふれあい交流事業を実施する団体を支援していく。</p>	
農林公園整備事業	IV-14	戦略的観光の推進		農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全、魅力向上に伴う整備等	計画どおり	5,676	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光施設の維持管理】 ・施設の維持修繕工事を実施するなど、安定的な管理運営に取り組んだところである。 ・今後とも、指定管理者と連携しながら、管理運営のほか魅力向上に向けた取組についても検討をしていく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:適切な管理運営】 引き続き、施設の維持修繕工事に伴う長期休館について指定管理者と協議を行いながら、安定した施設運営に努めるほか、指定管理者と連携を強化し、来園者の増加につながるような魅力向上にも取り組んでいく。</p>	
ふるさと宮まつり事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進		「ふるさと宮まつり」の開催を支援することで、郷土文化の醸成や本市のイメージアップにつなげる	ふるさと宮まつり開催委員会	宮まつりの開催に係る費用の一部を補助	感染症の影響による変更	2,233	S51		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 ・感染症の状況を注視しながら、代替事業の実施を検討していたところであるが、更なる感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により開催直前に中止となった。 ・今後は、感染対策を徹底しつつ、通常開催に向けた準備を進めるとともに、感染拡大による直前での開催内容の変更(費用負担等)についても柔軟に対応できるよう、関係事業者と調整をしていく必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 ふるさと宮まつりは、北関東最大規模の祭りとして市内外からの集客力が高く、本市の知名度向上及びイメージアップを図る上で効果的なイベントであることから、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、引き続き「ふるさと宮まつり開催委員会」を支援していく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
宇都宮観光推進委員会事業(交付金等)	IV-14	戦略的観光の推進		デスティネーション キャンペーンをきっかけに 発足した「宇都宮市DC推進委員会」 での取組を継承し、観光 事業者等との連携を しながら観光事業に 取り組み、官民一体と なって本市観光を推 進し、地域経済の活 性化に寄与する	宇都宮観光推進委 員会	事業実施に係る経費を補 助	計画 どおり	48,000	H28		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光需要回復策の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民が連携しながら、栃木県補助金を活用した「三密回避旅行商品」の造成のほか、「プレミアム観光クーポン宇都宮」の販売とSNS等を活用した誘客プロモーションを一体的に展開するなど、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要回復策に取り組み、誘客促進や周遊促進、滞在時間の延長を図った。 ・引き続き、感染症の影響を受けている市内観光事業者の支援にもつながるよう観光振興に取り組みとともに、ポストコロナを見据えた観光振興策にも取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:官民連携した観光振興】</p> <p>引き続き、感染症の状況を注視するとともに、委員の意見を踏まえながら、ポストコロナを見据え、観光資源の創出や磨き上げなどについて、官民が連携して取り組んでいく。</p>	拡大
観光宣伝事業 観光セールス強化事業	IV-14	戦略的観光の推進		各種媒体を活用しな がら本市の魅力ある 観光情報の発信を行 うとともに、自治体や 観光関係団体と連携 しながら、時期を捉え た首都圏や新幹線沿 線都市等でプロモー ション等により情報発 信を行うことで、本市 への誘客促進を図る	首都圏及び新幹線 沿線都市を中心とし た、本市外に在住す る方	<ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット(るぶ 宇都宮・ミニるぶ等)の 作成及び配布 ・餃子、ジャズ、カクテル マップの配布 ・HPやSNSを活用した情 報発信 ・本市来訪の契機とする ためのトップセールス、メ ディアの活用、キャンペ ンキャラバンを実施 ・各団体と連携した国内 外での観光PRの実施や 広域周遊ルートの作成 	感染 症の 影響 による 変更	9,455	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):効果的な観光宣伝事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県等で主催される観光キャラバン等が中止となり、例年よりも観光PRの機会が減少したところであるが、新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要の回復時を見据え、効果的な観光宣伝を行うため、感染症の状況を注視し、市独自に首都圏の観光施設や主要駅等で職員による観光セールスのほか観光パンフレットの配布や観光PR動画の放映を実施した。 ・また、栃木県や県内県央エリアで構成される「県央地域分科会」に参画し、県央エリアの冬のコンテンツを「とちぎ旅ネット」に特集ページを作成し本市の魅力発信を行うとともに、東日本の新幹線沿線都市等で構成される「東日本連携・創生フォーラム」や「東日本連携広域周遊ルート策定研究会」といった広域的な枠組みにも参画し、東日本ウェブプロモーションを展開するなど、感染症収束後に向けた誘客宣伝活動を行った。 ・駅東交流拠点施設やLRTの開業など本市の観光を取り巻く環境の変化も見据えながら、戦略的に首都圏等で観光セールス等を行うほか、栃木県や他自治体と連携した観光PRを展開していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:戦略的な観光PRの推進】</p> <p>引き続き、感染症の状況を注視しながら、観光動態調査等のマーケティングによる市場分析を実施・活用することで、本市の環境の変化や来訪者の観光動態、新型コロナウイルス感染症等による旅行形態の変化を的確に捉え、戦略的に首都圏などにおいて様々な媒体を活用して観光セールスに取り組みとともに、栃木県や(一社)宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮観光推進委員会などとも連携を図り、国内での観光キャラバンや商談会・旅行博への参加、新たな観光ルートの創出などに取り組むなど、広域連携による観光PRの推進にも取り組んでいく。</p>	
フェスタin大谷事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進		「フェスタin大谷」の 開催を支援すること で、本市の観光拠点 である大谷地域観光 を推進する	フェスタin大谷実行 委員会	フェスタin大谷の開催に 係る費用の一部を交付	計画 ど おり	3,000	H13		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フェスタin大谷」の開催・運営の支援を通じて、本市の重要な観光地である大谷地域の魅力発信を行った。 ・引き続き、感染症の状況を鑑みながら、大谷石の魅力が来訪者に伝わる開催内容となるよう支援していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:大谷の観光振興の推進】</p> <p>引き続き、大谷地域への更なる誘客促進を図るため、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、「石の里・大谷」を県内外に向けて広くPRするとともに、「フェスタin大谷実行委員会」を支援していく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
外国人観光客受入体制の整備	IV-14	おもてなしの充実		外国人観光客が快適に市内旅行をしてもらえるよう、市内の受入環境を整備する。	市・民間団体等	・外国人観光客向け公衆無線LANの整備、運用維持管理 ・観光施設等における案内看板やホームページ、メニューなどの多言語化に係る費用の一部を交付	計画 どおり	1,779	H29		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):外国人観光客の受入環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆無線LANの運用や外国人観光客受入体制整備事業補助金の周知、外国語による本市の魅力的な観光資源の情報を盛り込んだ外国人向けポータルサイトを運営することで、民間の観光施設における多言語対応の促進や、本市を訪れる外国人観光客の受入体制の整備に取り組んだ。 ・引き続き、補助金の活用につながるよう制度の周知を実施するなど、外国人の受入環境の整備促進に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:補助制度の利用促進】</p> <p>今後は、公衆無線LANの継続運用及び機器更新、パンフレットやポータルサイト、アプリ、タブレット等を活用した多言語による情報発信や観光案内の充実を図るとともに、民間事業者に対し、補助制度に係る周知や働きかけを行うなど、制度の利用促進に取り組んでいく。</p>	
観光コンベンション協会事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		本市の玄関口でもあるJR宇都宮駅観光案内所において、来訪者へ丁寧でわかりやすい観光案内を行うことで、おもてなしの向上を目指す	宇都宮観光コンベンション協会	観光案内所などの維持管理及び運営事業に要する経費を負担	計画 どおり	10,715	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光客への案内充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客が快適に市内を周遊できるよう、JR宇都宮駅観光案内所において、各種パンフレットの配布や本市観光情報の提供などのおもてなし推進に取り組むとともに、プレミアム観光クーポン宇都宮事業と連動しながら観光需要の回復と併せて本市の魅力発信にも努め、観光誘客に取り組んだ。 ・国体の開催等により、多くの来訪者が予想されることから、引き続き本市の観光を満喫できるようおもてなしの推進に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:案内機能の更なる充実】</p> <p>今後は、観光客が快適に観光できるよう、観光案内所における情報発信機能の向上を図るなど、協会や市内観光事業者と連携を図りながら、観光客が快適に本市を観光してもらえるよう更なるおもてなしの向上に努めていく。</p>	
観光振興促進事業(補助金)	IV-14	おもてなしの充実		事業者が行う、観光施設の改築や備品の購入等を支援することで、本市の更なる観光振興を図る	・本市に体験型観光施設を設置しようとする事業者、工場、伝統工芸品店その他商店等 ・大谷エリア等での新たな飲食店出店希望者	整備に要する経費の一部を補助	計画 どおり	8,000	H18		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):観光施設・事業所出店への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷エリアへの新たな出店事業者等を支援することにより、大谷地域への立地誘導が促進され、観光客へのおもてなしの向上が図られた。 ・引き続き、更なる本市の観光振興を図るため、当該補助金を活用した事業者への支援を継続していく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:補助金の活用促進】</p> <p>引き続き、ものづくり等の体験施設や飲食・土産品販売の施設を整備する事業者への支援を行い、観光客へのおもてなしの充実に取り組んでいく。</p>	
おもてなし推進委員会運営事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		市民や事業者のおもてなし能力の向上させ、本市を訪れた観光客に、「来てよかった」、「また訪れたい」と感じていただき、本市への再訪につなげる	おもてなし推進委員会	観光ボランティアの育成やおもてなしの向上に要する経費の一部を負担	計画 どおり	320	H20	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民が連携したおもてなし体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業所の全市民的におもてなし能力を向上させるため、官民協同で組織された「おもてなし推進委員会」において、セミナーや出前講座などのおもてなし運動を推進することにより、市民や事業者の「おもてなし」能力の向上が図られた。 ・引き続き、本市を訪れて良かったと観光客が満足してもらえるよう、観光客のおもてなしの強化に取り組んでいく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:更なるおもてなしの充実】</p> <p>今後は、本市の観光を取りまく環境が変化し、来訪者が増えることから、更なる「おもてなし力」の向上と充実を図るため、引き続き、「おもてなし推進委員会」を活用し、講座やセミナーの開催などに取り組み、地域一丸となって「おもてなし日本一」のまちづくりを推進していく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
ジュニア芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	小中高校生の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	うつのみやジュニア芸術祭実行委員会	うつのみやジュニア芸術祭の開催	感染症の影響による変更	2,435	H11		<p>【①昨年度の評価(成果や課題): 感染症の影響により開催方法を変更して実施、ジュニア音楽祭のみ中止】</p> <p>・「学校音楽祭」では、小学校の合奏・合唱は緊急事態宣言の発出を受け中止としたが、中学校の合奏・合唱については、予定を変更して初めて音源審査により実施した。ギャラリー展示では「ポスター原画展・学校美術展」は立体作品を除いて展示したが、「学校書道」については、展覧会を行わず、特賞作品のみ、市ホームページへの掲載を行った。また、「学校演劇祭」については、小・中学校は、緊急事態宣言下の開催がかなわなかったため、参加校すべてを県大会へ推薦することとして県大会との合同開催とし、高等学校は、来場者を関係者に絞るなど感染対策を講じながら開催した。</p> <p>・3月上旬に書面による実行委員会を開催し、令和4年度についても感染症対策を十分に講じ、開催に向け検討していくこととした。</p> <p>【②今後の取組方針: 感染症防止対策に十分配慮した事業の実施】</p> <p>開催に向け、本市の感染状況や、県や市教育委員会における学校活動に関する対応方針などを踏まえ、随時、事業ごとに開催可否の検討を行いながら準備を進めていく。</p> <p>・また、広く市民に子どもたちの活動や、成長を一層感じてもらえる機会を創出するため、受賞作品の情報発信など創意工夫に努めていく。</p>	改善
宇都宮エスペール文化振興事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	次代を担う芸術家の育成・支援を図り、本市の文化振興に寄与する。	今後の活躍が期待できる本市ゆかりの優れた芸術家	・隔年で宇都宮エスペール賞の選考、受賞者に育成金(200万円)を贈呈 ・エスペール賞の選考を行わない年は、プロボト事業(受賞者の発表機会提供事業・受賞者学校派遣事業)を実施など	計画どおり	1,066	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題): 質の高い芸術文化に市民が触れる機会の創出】</p> <p>令和3年度は、これまでの受賞者の協力を得て市民に質の高い芸術文化に触れる機会を創出する「プロボト事業」を開催する年度であり、第13回ギャラリー部門の受賞者の成果発表を行う美術館を会場として、過去のホール部門受賞者によるコンサートを行った。また、コロナ禍において校外の活動が制限されているなか、市内小・中学校に募集をかけたところ、15校から応募があり、14校に5名の受賞者を派遣した。また、国の重要文化財である旧篠原家住宅においてギャラリー部門受賞者による作品展示を行い、本市文化芸術のより一層の振興に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針: エスペール賞の選考による本市ゆかりの芸術家の育成・支援】</p> <p>地元の若手芸術家を育成・支援する取組は全国的にも稀有であり、令和4年度はホール部門の選考を実施し、優れた芸術家を発掘していく。</p>	
市民芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	宇都宮市民芸術祭実行委員会	宇都宮市民芸術祭の開催	感染症の影響による変更	6,853	S55		<p>【①昨年度の評価(成果や課題): 感染症の影響により一部中止・縮小、無観客開催にて実施】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、「ホール」部門の邦楽、合唱、オーケストラ、オペラについては中止、民謡民舞、謡曲、吟詠剣詩舞は無観客開催となった。その他のホール部門の日本舞踊祭や市民歌謡祭、軽音楽祭(ミヤストリートギグ)等、また、茶華道、ギャラリー、文芸、メディアの各部門については、感染症対策を講じながら実施した。</p> <p>・11月に第2回実行委員会を開催し、令和4年度の事業実施に向けて、部会ごとに新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて開催に向けて準備していくこととした。</p> <p>【②今後の取組方針: 感染症防止対策に十分配慮した事業の実施】</p> <p>開催に向けて、国・県の方針や、本市の感染状況を踏まえ、随時、事業ごとに開催可否について検討を行いながら準備を進めていく。</p> <p>・また、各部門において創意工夫を図りながら若い世代の参加促進に努めるほか、運営側にも若い世代の取り込みを図っていく。</p>	改善

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
美術館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		美術館及び文化の森の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団	指定管理者を運営主体とした美術館の管理運営と企画展などの事業の実施	感染症の影響による変更	294,205	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):魅力ある企画展等の実施と空調等設備改修工事のための長期休館】 企画展「ジョルジュ・ピゴール展」及び第13回エスぺール賞受賞者伊藤遠平氏の成果発表など、入館時の検温や消毒液の設置など、感染症対策を十分に行いながら開館し、文化芸術の振興を図った。また、8月から空調等設備の改修工事の休館期間中は、アウトリーチ活動として市内の小学校に学芸員や芸術家を派遣する「トビダス美術館」や文化の森における自然観察会を実施した。</p> <p>【②今後の取組方針:施設のリニューアルオープン及び25周年記念事業に向けた取組の推進】 学芸員の専門知識や幅広いスキルを活かし、これまで収集した6,800点を超えるコレクションや、大谷石などの本市の資源を活かした魅力的な企画展の開催に向けて取組んでいく。また、25周年を記念した看板作品の購入に向けて検討を進めていく。</p>	拡大
美術館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供するとともに、美術品の適切な保護を図る。	宇都宮美術館	美術館の施設・設備の計画的保全や緊急対応	計画どおり	16,645	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):計画的な保全整備のための改修工事の実施】 開館から25年が経過しており、平成29年度に実施した「施設劣化診断及び改修手法等調査」を踏まえ、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組むため、8月から休館を伴う大規模改修に着手し、定期的な打ち合わせなどを行いながら、円滑に工事を実施した。また、収蔵庫の改修工事に伴う美術作品の適切な移動・保管のために、仮の収蔵庫となる展示室の環境整備を行った。</p> <p>【②今後の取組方針:大規模改修工事の円滑な実施と工事期間中の美術作品の適切な保管】 令和4年秋のリニューアルオープンに向け、随時必要な協議を行いながら工事の進捗確認を行う。また、工事期間中の美術作品の移動・保管のため、関係者と綿密に連携を図りながら適切な管理を行う。</p>	
美術館訪問鑑賞会事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	子どもたちが質の高い芸術に親しむ機会を提供する。	市内小中学生	市有バス等を活用して美術館を訪問し、展覧会の鑑賞等を行う。	感染症の影響による変更	0	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):子どもたちが優れたアートに触れる機会の提供】 休館前の短い会期の実施となったが、参加した3校の児童生徒や教職員の満足度も高く、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成に寄与した。</p> <p>【②今後の取組方針:参加しやすく魅力的な事業内容の検討】 多くの子どもたちに優れたアートに触れる機会を提供するため、感染症対策を十分に行い、参加校の利便性向上に努めていく。また、秋のリニューアルオープン後の実施となることから、翌年度以降の募集に向けて、参加しやすく魅力的な事業になるよう内容を検討するなど、新規の学校の参加促進を図っていく。</p>	改善
文化会館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		文化会館の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)うつのみや文化創造財団	指定管理者を運営主体とした文化会館の管理運営と文化振興事業の実施	感染症の影響による変更	265,923	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):感染症の影響による各種ホール事業の中止・延期、施設利用の安全確保】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、一時休館(8月23日～9月30日)し、使用料の還付措置が取られたことから、財団受託事業、自主事業の中止または延期(コンサートや演奏会など)が相次ぎ、利用料金収入が大幅に減少した。 ・大・小ホールを中心に施設利用のキャンセル、また各種事業が中止・延期となったが、グランドピアノの無料開放事業(「あなたにエール」グランドピアノ無料開放DAY)や、市役所本庁舎を会場としていた市民ホールふれあいシティコンサートを小ホール公開録音するなど、サーマルカメラの貸し出しや消毒液の設置など、感染防止対策を講じながら、市民が文化芸術活動に触れる機会の創出に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針:施設利用の安全確保と文化団体等との連携及び情報発信力の強化】 感染防止対策を講じながら、会館の持つ舞台技術や事業実施の専門スキルを生かし、良質かつ魅力的な文化芸術事業を企画するとともに、地域や団体が行う文化芸術活動の支援や民間の文化活動を含めた幅広い情報の収集・発信に取り組んでいく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
文化会館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供する。	宇都宮市文化会館利用者	文化会館の施設・設備の計画保全や緊急対応	計画どおり	27,108	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持と第2期大規模改修工事に向けた改修手法等調査の実施】 開館から40年以上が経過していることから、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。また、第2期大規模改修工事の実施に向けて、改修箇所やスケジュールなどを再整理するため改修手法等調査業務委託を実施した。</p> <p>【②今後の取組方針:第2期大規模改修工事における改修箇所や休館期間などの決定、計画的な施設維持・修繕】 令和3年度に実施した第2期改修工事改修手法等調査を踏まえ、工事の改修箇所やスケジュール等を検討し、令和5年度の実施設計に向けて庁内合意を図る。また、経年劣化等に伴う施設・設備の故障や不具合が散見されることから、計画修繕を適切に行っていく。</p>	改善
文化協会事業補助金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民主体による芸術文化の普及・振興を図る。	宇都宮市文化協会	ふれあい文化教室・文化探訪・文化協会スケッチ会の実施	感染症の影響による変更	1,380	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):様々な文化の体験機会の確保】 ・令和2年度に開催できなかった「文化協会まつり」について、感染防止対策を講じながら実施した。また、夏休み子どもマジック教室、スケッチ・写真会、歌舞伎観劇会なども広報うつのみやで募集を行って実施した。 ・文化協会会員が講師となり小中学校において箏・尺八や民謡、三味線、茶道など様々な文化の体験機会を提供している「ふれあい文化教室」については、感染症の影響により学校における校外学習の機会の確保が難しくなる中、市内小・中学校から多くの派遣要請を受け、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成のほか、郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与した。</p> <p>【②今後の取組方針:市民主体による文化活動の促進への支援】 宇都宮市文化協会は各ジャンルで活躍している市内芸術家を統括した団体であることから、引き続き、市民主体の文化活動への支援を行うとともに、文化協会の自主財源の強化に向けて、令和元年度に協会が新設した企業・団体等向け講座「ふれあい文化教養講座」の周知・活用を支援していく。</p>	
文化創造財団運営補助金	IV-15	文化活動の充実		市民文化の創造を図り本市の文化振興に寄与するため設立した文化創造財団の円滑な組織運営を支援する。	(公財)うつのみや文化創造財団	財団の組織運営に要する経費の一部補助	感染症の影響による変更	58,309	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の適切な管理運営の実施、施設管理における感染症対策の実施】 ・宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の指定管理者として、国や県等の対応方針を踏まえながら、サーマルカメラや消毒液の設置など新型コロナウイルス感染症対策を十分に執り、施設の適切な管理運営に努めた。</p> <p>【②今後の取組方針:本市の文化振興の中核組織としての機能強化及び施設管理における感染症対策の徹底】 ・財団の専門性の更なる向上と事務局機能の強化を図るため、引き続き、事務局を核として組織経営や内部統治に計画的・戦略的に取り組むほか、美術館と文化会館の連携によるアートやデザインと音楽を融合した事業や、市民全体に波及する事業を効果的に実施していけるよう指導・支援を行っていく。 ・また、引き続き、施設管理においては、国や県の方針や、本市の感染状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、市民が安全に、また安心して文化芸術に触れることができるよう、十分に配慮する。</p>	
うつのみや遺跡の広場改修事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		うつのみや遺跡の広場の適切な保存と活用を図る。	根古谷台遺跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画どおり	1,639	S52		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):うつのみや遺跡の広場の効果的な活用に向けた検討】 令和3年1月の強風により茅葺屋根の一部が崩落していた復元建物(J-5)について、屋根の部分修繕を実施した。</p> <p>【②今後の取組方針:うつのみや遺跡の広場の効果的な活用に向けた検討】 平成3年3月の開園から30年以上が経過しており、復元建物を含め施設の老朽化が進んでいる。引き続き、施設の老朽化に適切に対応するとともに、VR等の活用も含め今後の施設の管理活用のあり方について検討を進めていく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
うつのみや百人一首市民大会交付金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市ゆかりの百人一首に触れ親しむ機会の創出を通じて、郷土愛の醸成と本市のブランド力の向上に寄与する。	うつのみや百人一首市民大会実行委員会	うつのみや百人一首市民大会の開催、連生記念全国競技かるた宇都宮大会の開催、百人一首普及啓発事業の実施	感染症の影響による変更	782	H8	独自性 トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)：感染症の影響による市民大会等の中止、代替事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技かるたの特性を鑑み、感染症の対策を行うことが困難であることから、市民大会及び連生記念全国競技かるた宇都宮大会を中止としたが、代替事業として、市民を対象とした「あなただけの好きな百人一首和歌2021」の募集を行い、上位5首を市ホームページや広報うつのみや1月号で発表したほか、スマートフォンアプリ「競技かるたONLINE」を活用し、競技かるたONLINEうつのみや大会を開催した。 ・3月に書面による実行委員会を開催し、令和4年度は、感染症対策を十分に講じた開催に向けて検討していくこととした。 <p>【②今後の取組方針：感染防止対策に十分配慮した市民大会の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県の方針や、本市の感染状況を十分に踏まえながら、安全・安心な市民大会等の開催に向けて競技内容の具体的な検討・準備を進めていく。 	
ジャズのまち普及事業補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	ジャズを核とした幅広い音楽の振興を通じて、郷土愛の醸成と地域の活性化に寄与する。	うつのみやジャズのまち委員会	ふれあい文化教室・渡辺貞夫ライブ・まちかどピアノ・ジャズセミナー・学校普及ジャズ等の実施	感染症の影響による変更	738	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)：感染症の影響による各種イベントの中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により、渡辺貞夫ライブやミヤ・サンセットジャズ、宮ふれあいステーションジャズ等は前年に引き続き中止となった。そうした中でも、子どもたちが本市ゆかりのジャズに親しむ機会を増やすため、教育普及事業として学校に専門講師を派遣する「ふれあい文化教室」を実施し、また、一般公募で参加者を募った「ふれあいジャズセミナー」については、感染症対策を講じながら全8回を開催し無観客での終了コンサートを実施した。こうした取組はイベント等の中止が続く中、ジャズに触れる機会が減っている参加者の方々から好評を得た。また、20周年事業としてジャズ史の編纂に着手し、取材を続けている。 <p>【②今後の取組方針：感染防止対策を講じた安全なイベントの開催と20周年事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うつのみやジャズのまち委員会や観光交流課との連携を強化し、音楽のあふれるまちの更なる活性化に向け、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの事業展開を模索していく。 ・令和元年度に試行実施し好評だった「まちかどピアノ」を、市民芸術祭軽音楽祭ミヤストリートギク等、関連イベント時に試行実施するとともに、通年設置に向けた課題を抽出する。 ・20周年記念事業であるジャズ史の編纂に継続して取り組む。 	改善
とびやま歴史体験館活用・啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化に対する理解促進を図る。	市民、来訪者	企画展・講演会の開催	計画どおり	99	H17		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)：本市の歴史文化に関する普及啓発の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、様々なテーマによる企画展や講演会を開催し、本市の歴史文化に対する理解促進に努めた。 <p>【②今後の取組方針：とびやま歴史体験館の効果的な活用に向けた検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LRTの整備・開通を見据え、とびやま歴史体験館のより効果的な活用や誘客促進について検討を進めていく。 	
宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市民協働により本市に伝わる伝統文化・芸能・食等の保存と継承を図る。	宇都宮伝統文化連絡協議会	伝統文化フェスティバル・宮っ子伝統文化体験教室・伝統文化講座・ふるさと料理講座等の実施	感染症の影響による変更	3,476	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)：伝統文化に触れる機会の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化連絡協議会会員が講師となり小中学校において獅子舞等の伝統芸能や黄ぶな絵付け等の伝統工芸、地域に伝わる民話語り等の体験機会を提供している「宮っ子伝統文化体験教室」は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底することにより、計画以上に実施することができた。 ・一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、伝統文化フェスティバル(10月)を規模を縮小して開催したほか、その他の講座も中止もしくは回数を減らしての実施となった。伝統文化・芸能・食等に触れる機会を新しい生活様式に則しつつ確保していくことが求められる。 <p>【②今後の取組方針：市民主体による伝統文化の継承活動への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝統文化フェスティバル」や各種講座について、新しい生活様式に対応した開催方法を検討して実施するほか、「宮っ子伝統文化体験教室」を年30回実施することで、伝統文化に身近に触れる機会を創出するとともに、地域における継承活動の環境づくりや人材育成への支援を図っていく。 	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
史跡等整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市内の文化財や史跡、天然記念物等の適切な保存と活用を図る。	市内の文化財や史跡、天然記念物等	施設・設備の整備・維持管理	計画どおり	8,759	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要文化財である旧篠原家住宅主屋の耐震基礎診断および耐震補強の実施が必要であるため業務委託を行った。 文化財表示板の現状を調査し、既存の表示板の修繕や、破損している表示板の新設等の業務委託を行った。 <p>【②今後の取組方針: 貴重な史跡等の保存・継承の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧篠原家住宅については、耐震診断結果に基づき耐震補強工事の実施設計を行い、建物の保全を図っていく。 表示板の維持・管理については、文化財調査員とも連携を図りながら、定期的に現状を把握し、適切に対応していく。 	
指定文化財管理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の維持管理に要する経費の一部を補助	計画どおり	4,097	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】</p> <p>指定文化財の維持管理に必要な費用を支援することにより、国指定文化財及び市指定文化財として価値を保持し保存を図った。</p> <p>【②今後の取組方針: 貴重な文化財の保存・継承の推進】</p> <p>貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>	
指定文化財等保存修理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存や活用を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の修理に要する経費の一部を補助	計画どおり	1,768	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】</p> <p>終年経過による劣化や樹勢が衰えた文化財は多数散見されるものの、計画的に保存修理を行った。</p> <p>【②今後の取組方針: 貴重な文化財の保存・継承の推進】</p> <p>貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。</p>	
指定文化財保存活動費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な指定文化財等の保存や活用、継承を図る。	市内の指定文化財等の保存・愛護活動団体	指定文化財の維持管理活動や伝承活動等に要する経費の一部を補助	感染症の影響による変更	1,043	S32		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 市民主体による文化財の保存・継承の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保存・愛護団体における文化財周辺の清掃・除草作業、獅子舞の練習や祭りへの参加などの活動に要する費用の一部を補助する取組を通じて文化財の保存や継承を図った。 文化財保存・愛護団体は、高齢化等により活動が停滞傾向にあり、地域ぐるみでの活動の促進が求められる。 <p>【②今後の取組方針: 市民による文化財保存活用の推進】</p> <p>昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により各団体の活動の停滞が懸念されることから、適切な対応・支援を行っていく。</p>	
上神主・茂原官街遺跡保存整備事務費	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		上三川町と連携し上神主・茂原官街遺跡の適切な保存と活用を図る。	上神主・茂原官街遺跡(国指定史跡)	普及啓発事業の実施、保存のあり方の検討	感染症の影響による変更	1,914	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】: 普及啓発の推進及び整備のあり方の検討】</p> <p>ウォーキングの開催や市民ホールでの展示などの普及啓発に取り組んだ。整備のあり方を検討する保存整備委員会については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、延期とした。</p> <p>【②今後の取組方針: 普及啓発の推進及び整備のあり方の検討】</p> <p>上三川町と連携しながら保存整備委員会において今後の活用方策や整備のあり方等について引き続き検討を行うほか、史跡周辺のウォーキングや「宇都宮学」を活用するなどの普及啓発事業を実施し、遺跡の認知度の向上と保存に向けた機運醸成を図っていく。</p>	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	・「日本遺産 大谷石文化」の理解促進と認知度向上、保存活用を図る。 ・大谷地域の重要文化的景観選定に向けた取組を推進する。	・宇都宮市大谷石文化推進協議会 ・人々の生活や生業などにより作られた大谷地域の文化的景観	・調査研究・情報発信・普及啓発・人材育成に係る事業の実施 ・大谷地域の重要文化的景観選定申出範囲内の自治会同意	計画 どおり	2,695	H30	独自性 先駆的	【①昨年度の評価(成果や課題)】:宇都宮市大谷石文化推進協議会を核とした魅力発信事業の推進 ・官民連携で設立した宇都宮市大谷石文化推進協議会を核として、大谷石文化の保存や活用に向け、情報発信・普及啓発・人材育成に係る様々な事業を実施した。大谷石化学市民講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、新しく大谷地域でオープンした「ベルテランエ大谷」での日本遺産PRポスターの掲示や、ガイド養成講座内で過去に認定したガイド(OYA ESCORTER)を実地研修の講師として採用するなど、新たな取り組みとして実施した。 ・また、大谷地域の石切りや奇岩の景観を国の重要文化的景観に選定してもらうために、地元自治会長会議において文化的景観の概要説明を行い、選定申出範囲内の自治会からの同意を得ることができた。 【②今後の取組方針】:大谷石文化に係る市民理解の促進と認知度向上 様々な機会や媒体を通じて大谷石文化の価値や魅力の情報発信や普及啓発の充実を図り、地域の活性化につなげるほか、官民連携により大谷石文化を保存活用する取組を推進するとともに、協議会が持続的に活動できる組織体制づくりに取り組んでいく。また、大谷地域の重要文化的景観選定に向け、申請書類の作成を行い、文化庁に提出を行う。	拡大
飛山城跡整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	飛山城跡の適切な保存と活用を図る。	飛山城跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画 どおり	825	S52		【①昨年度の評価(成果や課題)】:飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 LRT電停からの誘導について検討を行った。また、老朽化した受変電設備の修繕工事を行った。 【②今後の取組方針】:飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 ・LRT開業に向け、飛山城跡や周辺文化財の案内など効果的な活用についての検討をもとに、設置工事を進めていく。 ・また、貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後も管理者と連携しながら、適切な維持管理の取組を支援していく。	改善
文化遺産を活用した地域活性化事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	・歴史文化基本構想に基づき、本市の歴史文化資源に対する理解促進と認知度向上を図る。 ・地域ぐるみでの歴史文化資源の保存活用	・宇都宮市歴史文化資源活用推進協議会 ・指定・未指定の歴史文化資源	・本市の歴史文化を紐解くエイト・ストーリーの普及啓発の実施 ・「宇都宮市民遺産制度」の普及啓発及び認定団体への活動、補助金活用等の指導・助言	計画 どおり	1,562	H28	独自性	【①昨年度の評価(成果や課題)】:本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進 令和2年度に制作した「宇都宮城映像コンテンツ」の運用と市民・来訪者への情報発信を実施した。また、本市の歴史文化の魅力や特色を紐解くエイト・ストーリーの増刷・配付を行った。「宇都宮市民遺産制度」については、令和3年度は4団体を認定するなど、文化遺産を活用した地域の活性化を着実に推進した。 【②今後の取組方針】:本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進 「歴史と文化財ホームページ」やSNSなどの視覚的な情報ツールを用いてエイト・ストーリーの更なる普及啓発を進めるとともに、宇都宮城映像コンテンツを活用して宇都宮城の情報発信を推進する。また、「宇都宮市民遺産制度」について、引き続き制度の周知を図り、市民や地域団体の公募への関心を高めるとともに既認定団体への支援に努めていく。	
文化財ボランティア支援事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な文化財の周知啓発を図る。	宇都宮市文化財ボランティア協議会 市民、来訪者	文化財ボランティア養成講座の開催、城址公園等における案内活動等の実施	感染症の影響による変更	1	H20		【①昨年度の評価(成果や課題)】:新型コロナウイルス感染症の影響による団体活動の縮小 新型コロナウイルス感染症の影響により、宇都宮城址公園等で実施していたボランティアガイド活動を縮小(土日のみ活動)とした。 【②今後の取組方針】:団体活動の再開に向けた支援 新しい生活様式に対応した団体活動の進め方などについて、宇都宮市文化財ボランティア協議会と意見交換を重ね、ボランティアガイド活動などがスムーズに再開できるよう支援していく。	

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P ・ 戦略事業 ・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R3 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物 (誰・何に)	取組(何を)						
文化財周知啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化や文化財に対する理解促進や認知度向上を図る。	市民、来訪者	文化財めぐり・普及啓発資料の作成等の実施	計画どおり	567	H3		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚 ・テーマに応じた文化財に触れる機会の創出や学校教育と連携し宇都宮空襲パンフレット配布に取り組み、市民や子どもたちの郷土の歴史に対する理解を深めた。 ・文化財めぐりについては、参加者を10人以下のグループに分け、マスク着用、検温などの感染予防策を講じて実施した。</p> <p>【②今後の取組方針】多様なツールを使った普及啓発の推進 宇都宮の歴史や伝統文化の理解促進や認知度向上のため、文化財めぐりや「歴史と文化財ホームページ」、「宇都宮学」などの多様なツールによる普及啓発に取り組んでいく。</p>	
文化財調査事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法に基づき、開発行為に伴う埋蔵文化財の適切な保護を図る。 市民協働により指定文化財の適切な保護を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の埋蔵文化財包蔵地 市内の指定文化財等 	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地における開発行為に伴う発掘調査等の実施 宇都宮市文化財調査員活動の実施 	計画どおり	4,960	S42		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】埋蔵文化財及び指定文化財の適切な保護 文化財保護法に基づき、適切な保護を図った。市HPで町内に埋蔵文化財包蔵地(遺跡)がない町名リストを公開し、事業者への周知を行った。また、宇都宮市文化財調査員と連携し指定文化財の現状を調査・把握し、修繕を行うなど適切な保護を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】民間事業者の法令遵守意識の高揚による埋蔵文化財の適切な保護の推進 ・文化財保護法に基づく届出を行わず埋蔵文化財包蔵地において開発行為等を行う事案が年数件発生していることから、庁内他課の開発許可窓口に周知文書を備え付けるなど、民間事業者に対する法令遵守や文化財の適切な保護に対する意識高揚や指導の徹底を図っていく。 ・また、引き続き民間事業者による大規模開発に係る大規模な確認調査が見込まれることから、埋蔵文化財の適切な保護に努める。</p>	改善
妖精資料活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	妖精ミュージアムを核とした妖精資料の普及啓発を通じて、中心市街地の活性化に寄与する。	市民、来館者	企画展の開催、ギャラリートーク・読み聞かせ等の実施	感染症の影響による変更	2,119	H19	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】感染症の影響による施設の休館や開催内容の変更 ・緊急事態宣言の発出に伴い一時休館措置が執られ、企画展が途中終了してしまったほか、ギャラリートークや絵本読み聞かせ等の影響があったが、入館者の検温や消毒液の設置、ギャラリートークを事前予約制とするなど、感染予防対策を十分に行いながら開催した。 ・また、SNSを活用した館内紹介やホームページのリニューアルなどの情報発信に取り組んだ。企画展「サロメ×ビズリー」においては、施設収蔵品や自作イラストでの分かりやすいパネル展示を行い、施設の新たな魅力発信に繋がる展示を工夫して行った。</p> <p>【②今後の取組方針】親子をターゲットとした企画等の充実及び施設特性を生かしたPRの強化 ・引き続き、感染予防対策をとりながら円滑な施設運営を行うとともに、リニューアルオープンしたゆうあい広場との連携を図り、ファミリー向けの企画など魅力的な事業の企画に取り組むほか、全国的にも稀有な妖精ミュージアムとして、SNSを活用してイベント情報を随時発信するなど、市内外への効果的なPRを行う。</p>	改善
「よみがえれ！宇都宮城」市民の会活動補助事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民が主体となった宇都宮城の歴史の伝承及び郷土愛の醸成	「よみがえれ！宇都宮城」市民の会	宇都宮城の歴史の伝承や郷土愛の醸成を目的とする城址まつりや歴史講演会等の活動費の助成・支援	感染症の影響による変更	5,272	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】コロナ下における宇都宮城址公園を活用した事業の実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった「城址まつり」の代替事業として、城址公園来園者のための案内パネル設置等を行うとともに、「桜まつり」の代替事業として桜のライブ配信を行った。 ・市内内外の多くの方にPRするため、宇都宮城に来た記念として、御城印・御城印帳等オリジナルグッズを販売した。 ・市民の会会員増加に向け、コロナ禍における事業実施の工夫や魅力向上・発信手法について検討を行う必要がある。</p> <p>【②今後の取組方針】新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた運営 ・イベント開催については、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら安全な運営ができるよう支援していく。 ・市民の会が設立20周年を契機ととらえ、会員の増加につながる「市民の会」の魅力向上策の具体化などの支援を行う。</p>	